

これだけは覚えよう！重要ポイント

平均値

外れ値の影響を受けやすい

中央値

外れ値の影響を受けにくい

最頻値

最も多い値・流行を表す

Q. 3つの代表値の使い分けは？ データの特徴に合わせて使い分ける。万能な代表値はない。

① 平均値を使う場合

適用

データが均等に分布しているとき。テストの平均点など。

均等なデータ → 平均値

② 中央値を使う場合

適用

極端な値がある場合。年収・家賃など外れ値が多いデータ。

外れ値あり → 中央値

③ 最頻値を使う場合

適用

最も多いものを知りたいとき。服のサイズ、人気商品など。

流行・人気 → 最頻値

④ 比較のポイント

まとめ

3つの代表値が大きく異なるとき、データに偏りがある証拠。

 $\bar{x} \neq$ 中央値 \Rightarrow 偏り

💡 ミス回避のコツ

⚠️ 常に平均値を使う

✖

どんな場合も平均値

○

データに応じて使い分ける

外れ値があるなら中央値、流行なら最頻値。

⚠️ 代表値だけで判断

✖

代表値1つでデータを理解

○

複数の代表値と散らばりを見る

代表値1つだけでなく、複数の視点で分析。

最終確認チェックリスト

- 3つの代表値の違いを説明できるか？
- 場面に応じた使い分けができるか？
- 代表値が異なる時偏りがあると理解したか？